

日本赤十字社では、輸血用血液の安定供給を目的として、国民の皆様に献血の普及啓発を図るための様々な献血推進施策を展開しています。

広報展開 「THINK献血」2年目の取り組み

令和6年度から始まったキャンペーンテーマ「THINK献血」は、今年で2年目となります。昨年度は『まずは考えることからはじめませんか』という呼びかけから、献血を「考えて、必要性を知っていただけ」きっかけを作ることに重点を置いていました。今年度は『私の日常にある献血』をコンセプトに、献血を「考えて、必要性を知っていただけ」から「つながりを感じ、関係があると気付く」へと次のステップへ進んでいます。CM、WEB広告、交通広告など、さまざまな場所で「献血」という言葉が多くの方の目に触れ、ひとりでも多くの方に「献血」について“考えて”いただけるような取り組みを行っております。



記念日施策

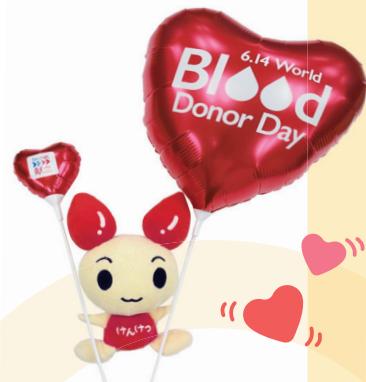
日本赤十字社では、献血にまつわる記念日を契機として献血の意義の理解促進に繋がる広報・プロモーション展開を行っております。

▶世界献血者デー(6月14日)

世界保健機関(WHO)によって定められ、安全な血液製剤の必要性を啓発し、**自発的かつ無償の献血にご協力いただいている方々に感謝する日**とされています。令和7年度は、世界献血者デーを知らせるため、若者が多く集まる原宿でオリジナルバルーンを配布しました。また、献血会場では、献血者の方に感謝をお伝えするミニバルーンを配布する活動を行いました。



原宿の表参道で限定バルーンを配付



▶献血の日(8月21日)

昭和39年、駐日アメリカ大使が売血による血液を輸血したことによって感染症に苦しむ事件が発生し、社会全体で売血の危険性が広く認識されるようになりました。学生たちによる“売血追放運動”が活発化し、マスコミでの報道も後押しとなり**8月21日、日本政府が『輸血用血液を献血により確保する体制を確立』することを閣議決定**しました。このことから、**毎年8月21日は「献血の日」とされています**。令和7年度は、全国学生献血推進実行委員会とタイアップして、「私たちと一緒に献血のこと ちょっとTHINKしてみませんか」というキャッチコピーで、主要7都市においてピールオフ広告を掲出し、学生のことばで献血への感謝やご理解・ご協力を呼びかけました。



全国7地区で交通広告枠を活用したピールオフ広告
(ステッカーなどのアイテムを広告から剥がして
持ち帰ることのできる広告)

全国学生献血推進 実行委員会

若年層へ献血について広めることを目的に、高校や大学内での献血協力の呼びかけや、全国統一キャンペーンやイベントの企画をするなど、献血推進に大きく寄与しています。全国で218団体、個人での参加も含めると約5,000名がボランティア活動に参加しています。

献血啓発について

日本赤十字社では、献血のきっかけづくりや、将来にわたり継続して献血にご協力いただくための取り組みとして、小学校・中学校・高等学校・大学等に訪問して、または、血液センターを開放して「献血セミナー(スライド・映像・冊子を用いた学習講座)」を積極的に実施しています。

また、献血未経験の方や献血可能年齢未満の方に対して、献血を知っていただくために様々な資材を作成し、展開しております。



幼少期に川崎病を患っていた読売巨人軍・大勢選手と、同じく幼少期に川崎病を患っていた小学生との対談により、川崎病の治療には献血由来の製剤が使用されることに言及し、献血の重要性を伝える動画



献血経験者への「献血をする理由」のインタビュー、はじめての献血体験をまとめた動画



献血を知ってもらうための小学生向けの献血啓発冊子及び動画

献血啓発の各動画はこちから確認できます

<https://youtube.com/channel/UC6r9p4U0-Dho4Rc00MIYn1A?si=cxZsqtqxKUwKsmZ2>



今後も安全な血液を過不足なく医療機関のみなさまへお届けできるよう
国民の理解を得ながら輸血用血液の確保に努めてまいります。

Thank you ありがとうの声

「ありがとうの声」のページには、輸血を受けた患者さんや輸血医療に携わっている医療機関の皆様からの献血者の皆様へのメッセージ、また、献血にご協力いただいた方々や献血活動をサポートいただいている方々から、献血に対する思いやメッセージが掲載されています。

「ありがとうの声」はこちからご覧いただけます
https://www.bs.jrc.or.jp/thanks_voice/index.html



Transfusion Chain (Vol.3) •

〈発行元〉

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 学術情報課
〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号

※お問い合わせは、最寄りの赤十字血液センター医薬情報担当者へお願いします。



・日本赤十字社 医薬品情報ウェブサイト

製品情報・輸血情報等についてはこちら

日本赤十字社 医薬品情報

検索

スマートフォン・タブレットにも
対応しています。

